

各県教育委員会教育長 様  
各市町村教育委員会教育長 様  
各県特別支援教育諸学校長 様  
各県小・中・高等学校長 様  
各県保育所長・幼稚園長・こども園長 様  
関係機関各位

平成30年2月吉日

東北特別支援教育研究会長  
宮城県特別支援教育研究会長  
第56回東北特別支援教育研究大会  
宮城大会実行委員長 水谷好成

平成  
30年度

- 第56回 東北特別支援教育研究大会宮城大会
- 第56回 全日本特別支援教育研究連盟東北地区研究大会宮城大会
- 第35回 宮城県特別支援教育研究大会仙台市大会
- 第41回 宮城県特別支援教育研究会知的障害教育専門部研究協議会仙台大会

## 【第1次ご案内】

### 1 大会テーマ

共生社会の中で心豊かに生活し、生き生きと活躍する子どもの育成  
～新しい時代に求められる、自立と社会参加を目指した授業づくり～

### 2 大会趣旨

障害者差別解消法が施行され、合理的配慮の実施など共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進が図られています。また、学習指導要領の改訂で主体的・対話的で深い学びを通して生きる力を身に付けることができるようにするための授業づくり等も求められています。

このような中、宮城県では、人や社会とかがかわる中で、社会性や勤労観を養い、集団や社会の中で果たすべき自己の役割を考えさせながら、将来の社会人としてのよりよい生き方を主体的に求めさせていく「志教育」が、そして、仙台市では、人や社会とのかかわりを大切にしながら、将来の社会的・職業的自立に必要な態度や能力を育むことをねらいとした「自分づくり教育」が展開されており、学校現場では、子どもたちの自立と社会参加を目指して、一人一人のもてる力を最大限に伸ばすためのきめ細やかな教育が行われています。

今、我々に求められている新しい時代の教育は、障害のある子どもたちが、自分らしく生きていくための「一人一人の教育的ニーズに応じた分かりやすい授業」や「子どもが主体性をもって発見し挑戦できる授業」、そして、豊かな生活を送っていくための「将来の生活を見据えた社会性や職業観を培う授業」を「分かったり、やってみたり、できるようになりたい」という意欲を喚起するよう展開したり、自分の学びを切り拓いていく姿をたくさん引き出せるよう働き掛けたりすることだと考えます。

本大会では、東北各県より持ち寄った授業実践を通して、新しい時代に求められる自立と社会参加について意見交換を行いながら、共生社会の在り方とその中で子どもたちが心豊かに生活し、生き生きと活躍する姿について、お互いに研鑽を深める機会になることを願っています。

### 3 期 日

平成30年11月15日(木)～16日(金)

### 4 主 催

全日本特別支援教育研究連盟 東北特別支援教育研究会 宮城県特別支援教育研究会

### 5 共 催

(予 定)

宮城教育大学 宮城県教育委員会 仙台市教育委員会  
宮城県特別支援学級設置学校長協議会 宮城県特別支援学校長会  
宮城県連合小・中学校教育研究会特別支援教育研究部会  
仙台市小学校教育研究会特別支援教育部会 仙台市中学校教育研究会特別支援教育部会

### 6 後 援

(予 定)

青森県教育委員会 岩手県教育委員会 秋田県教育委員会 山形県教育委員会  
福島県教育委員会 社団法人宮城県私立幼稚園連合会 宮城県小学校長会  
宮城県中学校長会 宮城県高等学校長協会 仙台市小学校長会 仙台市中学校長会  
一般財団法人宮城教育振興会 一般財団法人みやぎ静心会 公益財団法人日本教育公務員弘済会宮城支部  
一般社団法人宮城県手をつなぐ育成会 社会福祉法人仙台市手をつなぐ育成会  
社会福祉法人宮城県社会福祉協議会 一般財団法人宮城県肢体不自由児協議会  
一般社団法人宮城県聴覚障害者協会 宮城県特別支援学校 P T A 等連絡協議会  
宮城教育大学教員キャリア研究機構特別支援教育研究領域

## 7 会場

<b>【1日目】</b>	全体会場 情報交換会	宮城教育大学(講堂, 萩朋会館) 仙台ガーデンパレス
<b>【2日目】</b>	分科会場	仙台市内小学校・中学校・特別支援学校

## 8 日程

### 【1日目】 全体会

11:00	12:00	13:00	13:30	14:00	16:00	18:00	20:00
理事会	昼食	受付	開会行事・表彰式	記念講演	移動	情報交換会	

### 【2日目】 分科会

9:00	9:20	10:20	10:40	12:30
受付	公開授業	休憩	分科会	終了

## 9 記念講演

演題: 「特別支援教育をベースにした学校や学級作り」(仮)

講師: 品川 裕香 氏 教育ジャーナリスト・編集者

北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター学外研究員  
文部科学省中央教育審議会教育課程特別教育支援部会委員  
京都市教育委員会支援の必要な子どもプロジェクト専門委員  
発達性ディスレクシア研究会副理事, 日本ディスレクシア協会理事  
NPO法人らんぷあんぶらざ理事兼事務局長

主な著書: 「輝きMAX!すべての子どもが伸びる特別支援教育」(金子書房)

「いじめない力, いじめられない力 60の“脱いじめ”トレーニング付」(小学館)他多数

## 10 分科会

分科会	分科会名	分科会テーマ	会場
第1分科会	聴覚障害	子どもの特性に応じた指導支援・連携の在り方を探る	宮城県立聴覚支援学校
第2分科会	視覚障害	一人一人に合わせた環境の中で, 生き生きと活躍できる授業づくりを目指して	宮城県立視覚支援学校
第3分科会	言語障害・発達障害	言語障害や発達障害のある児童生徒の豊かなコミュニケーションや自立と社会参加を目指した授業づくり	仙台市立木町通小学校
第4分科会	知的障害【特別支援学校】	将来の生活を見据えた授業づくり～キャリア教育の視点から～	仙台市立鶴谷特別支援学校
第5分科会	知的障害【小学校】	<通常の学級>主体的に学び, 共に輝く子どもを育てる授業づくりを目指して <知的障害学級>みんなが分かり, 活動する授業づくりを目指して	仙台市立八本松小学校
第6分科会	知的障害【中学校】	主体的に学ぶ力を育む指導・支援	仙台市立長命ヶ丘中学校
第7分科会	知的障害【地域連携】	地域連携の充実	仙台市立鶴谷特別支援学校
第8分科会	肢体不自由・病弱虚弱	一人一人が生きる肢体不自由・病弱虚弱教育の在り方を求めて	宮城県立西多賀支援学校
第9分科会	自閉症・情緒障害【小学校】	<通常の学級>自閉スペクトラム等の児童生徒一人一人に応じた <自閉症・情緒障害学級>効果的な指導・支援を目指して(通・特共通テーマ)	仙台市立連坊小路小学校

## 11 参加費

3,000円

## 12 その他

詳細につきましては,  
平成30年8月頃に発送予定の第2次案内,  
及び, 宮城教育大学附属特別支援学校HPで  
お知らせいたします。

### 大会事務局

〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉395-2  
宮城教育大学附属特別支援学校 教頭 高橋俊次  
TEL:022-214-3353 FAX:022-214-3362  
E-mail:tokushi@tokushi.miyakyo-u.ac.jp